

Web Data Recorder WDR-7

ダイヤルアップ接続設定の手順

設定の流れ

準備

1. 必要なものを準備する

WDR-7 のパッケージ内容を確認、またダイヤルアップ接続に必要な通信カードなどを準備します。

➡ 本書：p.2 ～

2. 通信端末の準備

パソコン側に通信端末のドライバーをインストールし、使用可能な状態にします。

3. 付属ソフトウェア（WDR-7 for Windows）のインストール

付属ソフトウェアをインストールして使用可能な状態にします。

➡ 取扱説明書：p.29

設定

4. 新しいダイヤルアップ接続の作成

新しいダイヤルアップ接続の作成を行ってください。

➡ 本書：pp.3-8

5. ネットワークの初期設定と詳細設定

WDR-7 for Windows のアプリケーション [ネットワーク設定ユーティリティ] を起動し、ネットワーク初期設定を行います。

➡ 取扱説明書：pp.33-40

6. WDR-7 の通信環境設定

WDR-7 の通信環境設定を行います。

➡ 取扱説明書：pp.39-40
本書：pp.9-12

実際にアクセス

7. ブラウザで呼び出してみましょう

接続設定が正しく行われたか、実際にアクセスして確認してください。

➡ 本書：p.13

準備

■用意するもの

- WDR-7 本体
- LAN ケーブル（設定用）
- 付属 AC アダプタ（AD-0605）
- WDR-7 動作確認済み通信カード 1 枚
- PC 側通信端末

- 使用可能なデータ通信カードについては、弊社ホームページにて情報を提供しております。
- FOMA・PHS カードを利用する場合は、PC 側にも FOMA・PHS 端末が必要になります。

■通信端末の準備

パソコン側に通信端末のドライバーをインストールし、使用可能な状態にします。

- 通常、初めて通信端末を PC に接続すると、新しいハードウェアの接続ウィザードが自動的に開始されます。画面の指示に従って、ドライバーをインストールすれば、使用可能な状態にセットアップできます。
- 通信端末に関するご不明点は、各通信会社様へご相談ください。

■付属ソフトウェア WDR-7 for Windows のインストール

取扱説明書を参照して、WDR-7 の付属ソフトウェア WDR-7 for Windows をインストールしてください。

■新しいダイヤルアップ接続を作成する

電話回線（本システムでは携帯電話）を通じて WDR-7 にダイヤルアップ接続し、通信する場合は、PC 側に新しいダイヤルアップ接続の作成を行ってください。

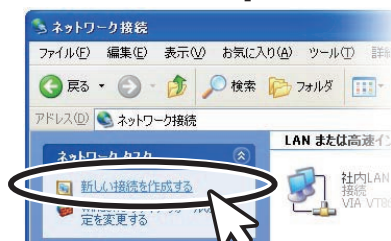
- WindowsXP をご利用の場合は本書 pp3-5 を参照してください。
- Windows2000 をご利用の場合は本書 pp.6-8 を参照してください。

新しいダイヤルアップ接続の作成

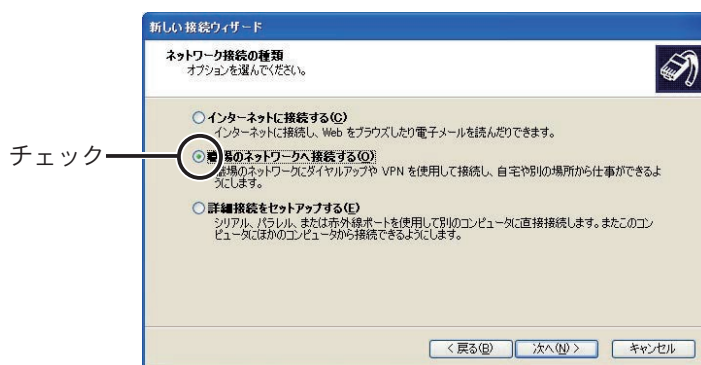
■ Windows XP ご利用の場合

携帯電話とパソコンを接続するケーブルのデバイスドライバなどがあれば先にインストールしておきます。

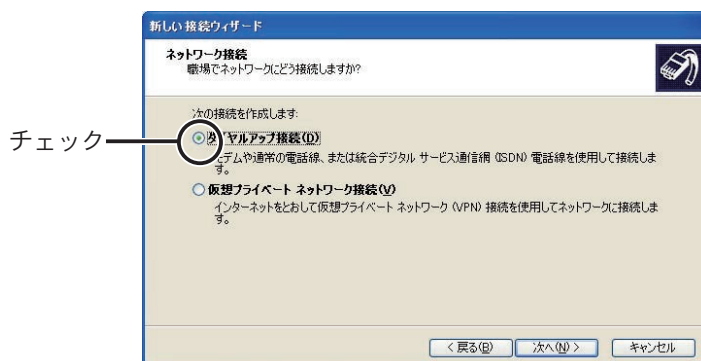
1. Windows® のコントロールパネルより [ネットワーク接続] を開きます。
2. 左上のネットワークタスクから、[新しい接続を作成する] をクリックします。



3. 新しい接続ウィザードが開始します。[ネットワーク接続の種類] で、[職場のネットワークへ接続する] を選択し、[次へ進む] ボタンをクリックします。



4. [ネットワークにどう接続しますか] で、[ダイヤルアップ接続] を選択します。

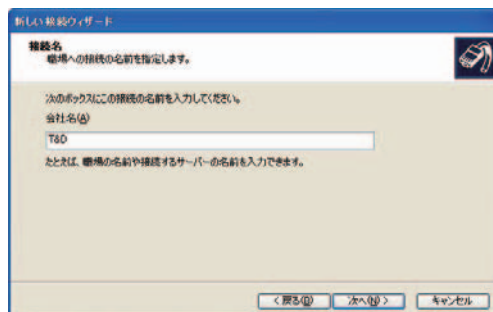


5. デバイスの選択で、使用するモデムにチェックを入れます。

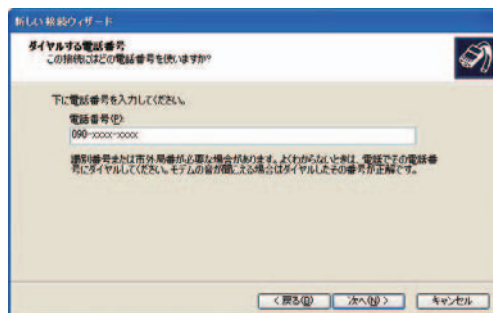
- この画面が表示されない場合は先に通信カードのデバイスドライバをインストールしておいてください。



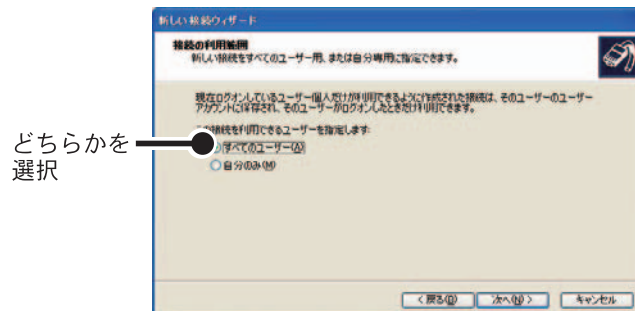
6. 入力ボックスに適切な接続名を入力し、[次へ進む] ボタンをクリックします。



7. WDR-7 に繋いだ通信端末の電話番号を入力ボックスに入力します。



8. 接続の利用範囲は、環境によりどちらかを指定します。



9. 新しい接続ウィザードを完了します。

10. [XXXXXXXXX へ接続] 画面が表示されたら、一旦キャンセルします。もしくは [プロパティ] ボタンを押して、プロパティ画面を開きます。



[プロパティ] ボタン

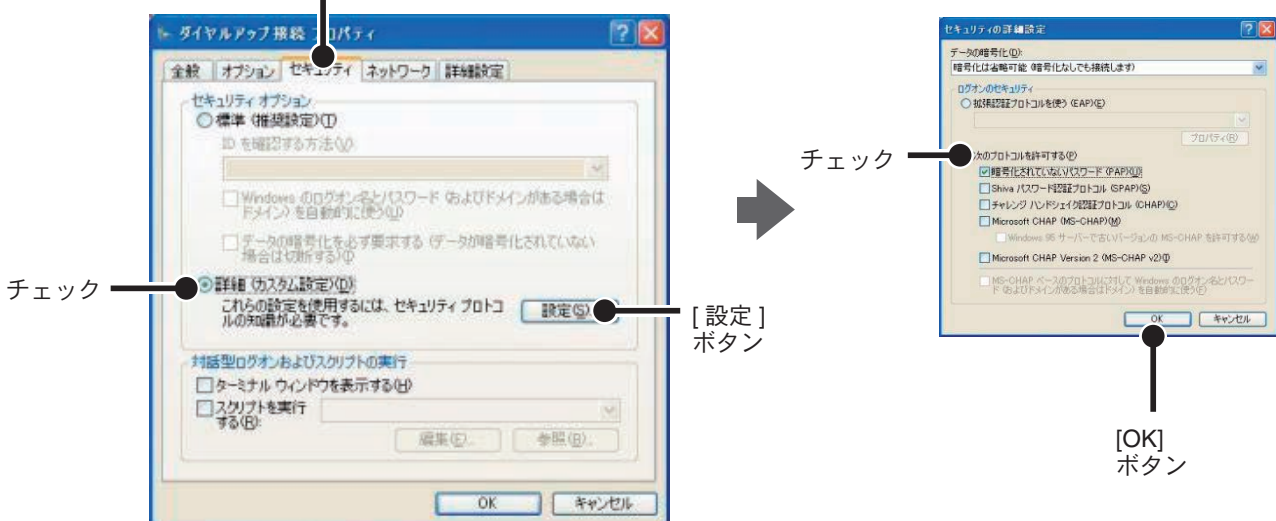
11. プロパティの設定を行います。[ネットワーク接続] 内のアイコン（自分で設定した接続名のもの）を右クリックし、[プロパティ] 画面を開きます。



12. [セキュリティ] タブを開き、[詳細(カスタム設定)] を選択し、[設定] ボタンを押します。
[セキュリティの詳細設定] 画面で [次のプロトコルを許可する] を選択し、[暗号化されていないパスワード (PAP)] 以外はチェックを外し、[OK] ボタンを押します。

[セキュリティ] タブ

[セキュリティの詳細設定] 画面

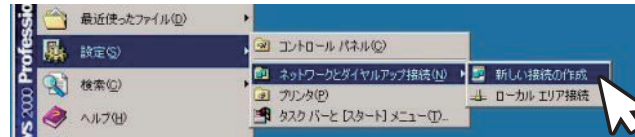


13. [セキュリティ] タブ画面の [OK] ボタンをクリックし、プロパティ画面を閉じます。

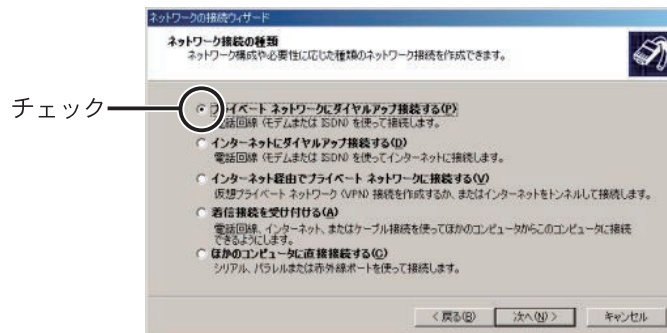
■ Windows 2000 ご利用の場合

携帯電話とパソコンを接続するケーブルのデバイスドライバなどがあれば先にインストールしておきます。

1. スタートメニューから [設定]-[ネットワークとダイヤルアップ接続] - [新しい接続の作成] を開きます。

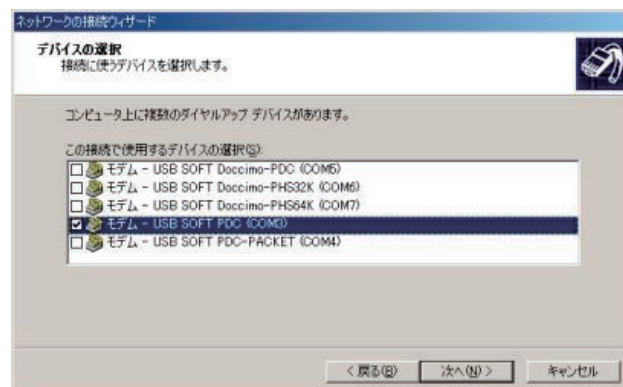


2. 新しい接続ウィザードが開始します。ネットワーク接続の種類で、[プライベートネットワークにダイヤルアップ接続する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

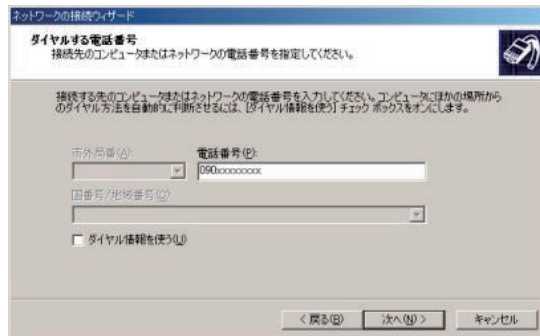


3. デバイスの選択で、使用するモデムにチェックを入れ、[次へ] ボタンをクリックします。

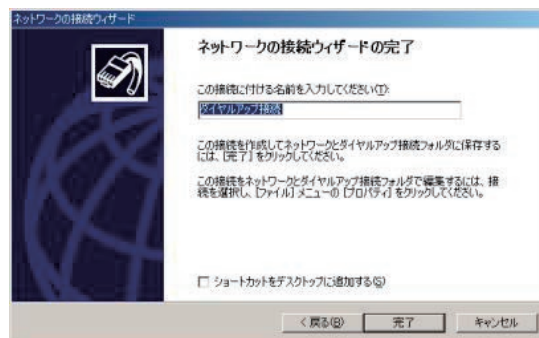
- 表示されない場合は先にモデムのデバイスドライバをインストールしておいてください。
- [モデム -USB SOFT PDC] など、インストールされているモデムによります。



4. 接続先の WDR-7 に繋いだ携帯など、ダイヤルする電話番号を入力します。



5. 接続の利用範囲を環境によって指定してください。
6. 接続に名前を入力して新しい接続ウィザードを完了します。



7. [XXXXXXXXX へ接続] 画面が表示されたら、一旦キャンセルします。もしくは <プロパティ> ボタンを押して、プロパティ画面を開きます。



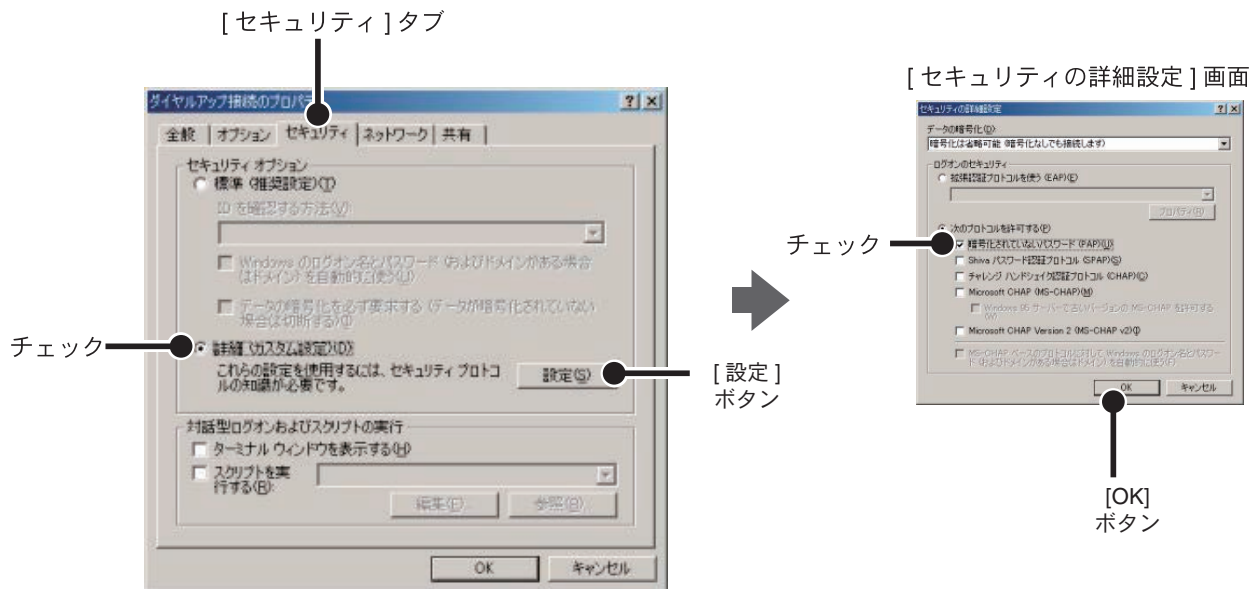
[プロパティ] ボタン

8. [ネットワークとダイヤルアップ接続] 内のアイコン（自分で設定した接続名のもの）を右クリックし、[プロパティ] 画面を開き設定を行います。



9. [セキュリティ] タブを開き、[詳細 (カスタム設定)] を選択し、[設定] ボタンを押します。

[セキュリティの詳細設定] 画面で [次のプロトコルを許可する] を選択し、[暗号化されていないパスワード (PAP)] 以外はチェックを外し、[OK] ボタンを押します。



10. [セキュリティ] タブ画面の [OK] ボタンをクリックし、プロパティ画面を閉じます。

WDR-7 の通信環境設定

ここでの通信環境設定の手順は、WDR-7 for Windowsをインストールし、ネットワーク設定ユーティリティの初期設定まで正しく行ったことが前提となります。取扱説明書を参照してください。

■設定ダイアログを開く

[ネットワーク詳細設定] ダイアログ内の [通信環境設定] ボタンをクリックすると、[通信環境設定] ダイアログが表示されます。

- 詳細設定は取扱説明書 pp.36-38 を参照してください。

[ネットワーク詳細設定] ダイアログ

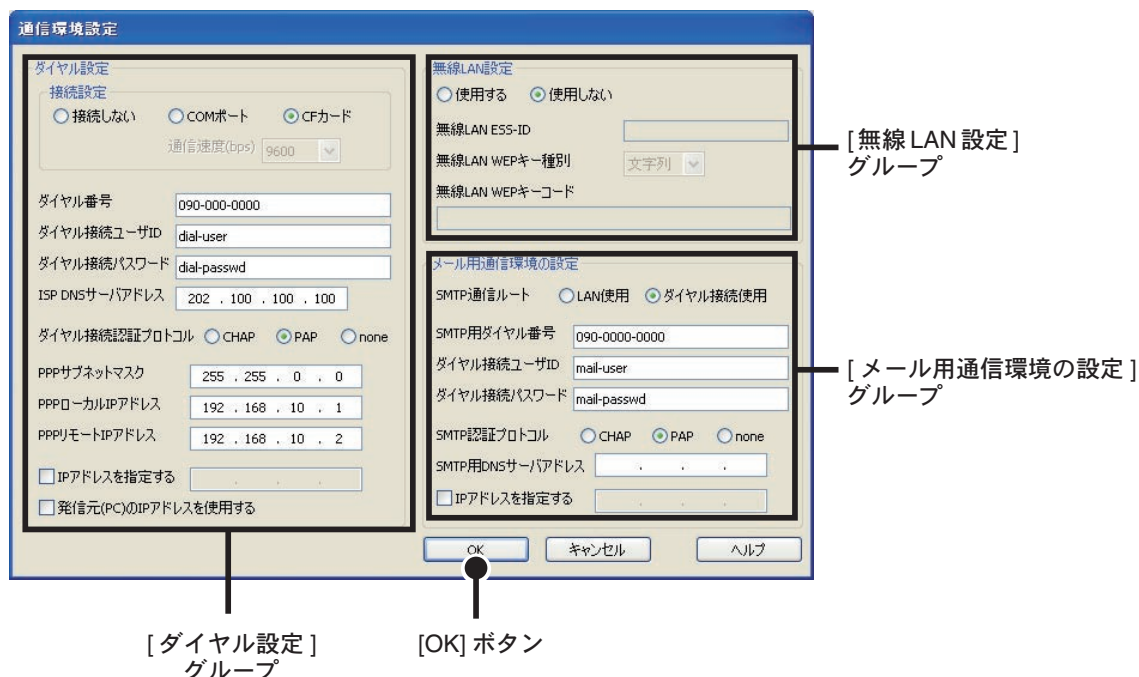
ボタン
① 通信環境設定
② 設定値の送信
③ 通信機能の再起動



[通信環境設定] ダイアログ

ダイアログは [ダイヤル設定]、[無線 LAN 設定]、[メール用通信環境の設定] のグループに別れています。

ここでは、[ダイヤル設定] グループの詳細を説明します。



1. 接続設定を選択します。

電話回線を利用して WDR-7 と通信するための設定です。

接続しない…………… ダイヤルアップ接続を使用しない場合に選択します。

COM ポート…………… RS-232C ポートに外付けモデムを接続し、使用する場合に選択してください。
通信速度 (bps) を設定してください。

CF カード…………… CF カードスロットに CF タイプの通信カードを挿入し、使用する場合に選択します。

2. ダイヤル番号及び ISP DNS サーバアドレスを入力します。

ダイヤル番号…………… プロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力してください。
FTP アップロードを使用しない場合は入力不要です。

ダイヤル接続ユーザ ID

とパスワード…………… パソコンから WDR-7 にダイヤルアップしログインする際のユーザ ID とパスワードです。FTP アップロードを使用する場合、WDR-7 からプロバイダ等にダイヤルアップし、ログインするためのユーザ ID (ユーザアカウント) とパスワードをかねます。

ISP DNS サーバアドレス… FTP アップロードを使用しない場合は入力不要です。
プロバイダから指定された DNS サーバアドレスを指定してください。不明の場合はご契約されているプロバイダへご相談ください。

3. ダイヤル接続認証プロトコルで [PAP] を選択します。

- パソコンから接続する場合は [PAP] での認証のみとなります。
- ダイヤル番号からダイヤル接続認証プロトコルまでは、WDR-7 からダイヤルアップで回線を接続する場合（FTP アップロードする場合）に使用するインターネットサービスプロバイダの設定を入力します。

CF タイプの FOMA カードでパケット通信により、ID・アカウントが必要なプロバイダに接続する場合

- 認証プロトコルは [CHAP] でないと接続できません。
- FTP サーバを利用する場合は 64k データ通信で接続してください。

【FOMA カードご使用時のダイヤル方式と認証プロトコルの関係】

| | | | 認証プロトコル | | | |
|-----|---------|------------|---------|------|------|------------------------------|
| | | | PAP | CHAP | none | |
| 着 信 | | | ○ | × | × | Windows2000/XP からダイヤルアップした場合 |
| 発 信 | パケット | ID・アカウントあり | × | ○ | × | |
| | | ID・アカウントなし | ○ | × | × | プロバイダに mopera を利用した場合 |
| | 64k データ | ID・アカウントあり | ○ | ○ | × | |
| | | ID・アカウントなし | ○ | × | × | プロバイダに mopera を利用した場合 |

4. 以下を設定します。

PPP サブネットマスク…………… パソコンと WDR-7 が PPP で回線接続している間は LAN の様に扱います。
その際のサブネットマスクを指定します。

PPP ローカル IP アドレス…………… PPP で回線接続した時の、WDR-7 の IP アドレスを指定します。

PPP リモート IP アドレス…………… PPP で回線接続したときの、パソコンの IP アドレスを指定します。

IP アドレスを指定する…………… ダイヤル接続時の WDR-7 の IP アドレスを固定したい場合にチェックし、
IP アドレスを入力します。
プロバイダに接続する場合はプロバイダより固定 IP を取得する必要があります。

発信元（PC）の

IP アドレスを使用する…………… パソコン側のネットワーク接続のダイヤルアップで、ダイヤルアップ接続
のプロパティのネットワークタブから、インターネットプロトコル設定で
[次の IP アドレスを使う] が指定されている場合は、下の [発信元（PC）
の IP アドレスを使用する] をチェックしてください。
パソコン及びプロバイダが指定した IP アドレスを PPP リモートアドレス
とします。

[ネットワーク詳細設定] ダイアログ

ネットワーク詳細設定

IPアドレス: 192.168.1.200
 サブネットマスク: 255.255.0.0
 ゲートウェイアドレス:

ログインID: wsc-user
 ログインパスワード: wsc-passwd

DNS設定
☐ ON ☒ OFF
 DNSサーバアドレス(Pimary):
 DNSサーバアドレス(Secondary):

SMTP設定
☐ ON ☒ OFF
 SMTPサーバアドレス(Pimary):
 SMTPサーバアドレス(Secondary):

IPプロトコル
☐ ON ☒ OFF
 ログイン許可アドレス1:
 ログイン許可アドレス2:
 ログイン許可アドレス3:

送信先
☐ ドメイン
☒ IPアドレス: 192.168.1.200
 ログインID: wsc-user
 ログインパスワード: *****

HTTPポート番号: 80

警告メール
 SMTPサーバ名称:
 POP before SMTP有効/無効: ☐ 有効 ☒ 無効
 POPサーバ名称:
 POPアカウント:
 POPパスワード:
 POPポート番号: 110 (通常は110)

ポート番号
 HTTP: 80
 FTPクライアント: 21
 DTPクライアント: 20
 時差(Jpn+09:00): GMT +09:00

通信先
☐ ドメイン
☒ IPアドレス: 192.168.1.200
 ログインID: wsc-user
 ログインパスワード: *****

HTTPポート番号: 80

通信環境設定... ヘルプ
 設定値の送信 通信機能の再起動 閉じる

IP アドレスのネットワークアドレス
 が同じ場合、ダイヤルアップ接続中は
 LAN での通信ができなくなりますので、
 同じネットワークアドレスにならないよ
 うに、設定してください。

例：LAN 側に 192.168.1.200 などの
 アドレス設定している場合

IP アドレス：10.0.0.1
 サブネットマスク：255.255.255.255
 相手 IP アドレス：10.0.0.2

[通信環境設定] ダイアログ

通信環境設定

ダイヤル設定
☐ 接続しない ☐ COMポート ☒ CFカード
 通信速度(bps): 9600

ダイヤル番号: 090-000-0000
 ダイヤル接続ユーザID: dial-user
 ダイヤル接続パスワード: dial-passwd
 ISP DNSサーバアドレス: 202.100.100.100
 ダイヤル接続認証プロトコル: ☐ CHAP ☒ PAP ☐ none

PPPサブネットマスク: 255.255.0.0
 PPPローカルIPアドレス: 192.168.10.1
 PPPリモートIPアドレス: 192.168.10.2

☐ IPアドレスを指定する
☐ 発信元(PC)のIPアドレスを使用する

無線LAN設定
☐ 使用する ☒ 使用しない
 無線LAN ESS-ID:
 無線LAN WEPキー種別: 文字列
 無線LAN WEPキーコード:

メール用通信環境の設定
 SMTP通信ルート: ☐ LAN使用 ☒ ダイヤル接続使用
 SMTP用ダイヤル番号: 090-0000-0000
 ダイヤル接続ユーザID: mail-user
 ダイヤル接続パスワード: mail-passwd

SMTP認証プロトコル: ☐ CHAP ☒ PAP ☐ none
 SMTP用DNSサーバアドレス:
☐ IPアドレスを指定する

OK キャンセル ヘルプ

テスト

■新しいダイヤルアップのアイコンから

1. 新しく作成したダイヤルアップ接続のアイコンをダブルクリックします。

- 詳細は本書 pp.3-8 を参照してください。

2. 通信環境設定で入力した ID とパスワードを入力し、[接続] をクリックします。

- 詳細は本書 pp.9-12 を参照してください。

3. 接続が完了すると、ブラウザ上で呼び出し可能な状態になります。

[通信環境設定] で、設定した IP アドレスを Internet Explorer のアドレスバーに入力すると、接続できます。

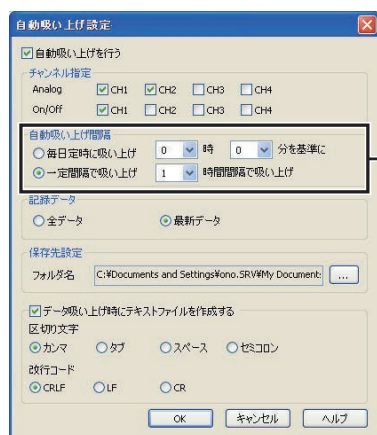
- 入力例 : `http://10.0.0.1`

ご注意

同じ電話回線を使用して、複数の WDR-7（設置場所）を登録し、自動吸い上げ設定を行う場合、自動吸い上げ間隔を 30 分以上差をつけて設定してください。

- 自動吸い上げ設定の詳細は取扱説明書 p.50 を参照してください。

[自動吸い上げ設定] ダイアログ



自動吸い上げ
間隔設定欄

例：1 台目の WDR-7

自動吸い上げ間隔

毎日定時に吸い上げ 1 時 30 分に吸い上げ

一定間隔で吸い上げ

30 分以上差をつけて
設定します

例：2 台目の WDR-7

自動吸い上げ間隔

毎日定時に吸い上げ 2 時 0 分に吸い上げ

一定間隔で吸い上げ

株式会社 ティアンドデイ

〒 390-0852 長野県松本市島立 817-1 TEL: 0263-40-0131 FAX: 0263-40-3152
お問い合わせ受付時間：月曜日～金曜日（弊社休日は除く） 9:00 ～ 12:00 ・ 13:00 ～ 17:00

ホームページ <http://www.tandd.co.jp/>

ホームページを開設しています。各種製品の最新情報や、イベント情報、
ソフトウェアの提供、サポート案内などティアンドデイの情報を発信しています。是非ご覧ください。

Web Data Recorder WDR-7 ダイアルアップ接続手順書

2009 年 4 月 第 2 版発行

発行 株式会社 ティアンドデイ

© Copyright T&D Corporation. All rights reserved.